

社長年頭あいさつ

2022年1月5日

日鉄ケミカル&マテリアル株式会社

代表取締役社長 榮 敏治

中長期経営計画達成へ真水の実力が試される年 予期せぬ状況変化に対応する確かな準備を

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍が落ち着きを見せる中、今年は晴れやかな気持ちで新年を迎えられたのではないかと思います。

■2021年を振り返って

2020年度下期以降、景気回復が続き、当社の事業領域においても需要は総じて堅調に推移しました。

しかしながらコロナ禍に伴う物流の混乱、サプライチェーンの分断は今なお世界経済に悪影響を及ぼしています。

半導体は堅調なIT投資、コロナ禍での巣ごもり需要もあり需要は極めて旺盛でしたが、一方で火災による供給減、能力増強の遅れから旺盛な需要に供給が追いつかず、半導体不足は自動車及びその周辺産業を始め多くの産業でブレーキとなりました。

また、原油、石炭、金属類など資源価格が高騰し、世界中でインフレが懸念されています。

このように昨年は景気回復の中でコロナ禍を始めとする、いくつかの不安要因を抱えたまま推移した一年でした。

■当社の経営概況

2021年度上期は好調な需要に支えられ、経常利益は157億円と過去最高レベルの収益を上げることが出来ました。

これは各事業部門の拡販及び価格改善努力、また製造部門の日々の安定生産、コスト削減努力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

一方、上期の高収益は化学品の Spredd 急拡大や海外関連会社株の評価益など一過性利益による底上げがあったことも事実です。これらの恩恵がなくなる下期は中長期経営計画達成に向けて当社の真水の実力が試される時期と言えます。

■2022年の世界情勢と経営課題

本年においても景気の動向は昨年と大きくは変わらない、即ち堅調な需要が継続すると見込まれます。一方で次のようないくつかの懸念材料があります。

(中国)

中国では先般の歴史決議で明らかになったように、習近平氏への権力集中が一層進み、覇権主義が明確になっています。台湾を始めとする領土問題や国内の人権問題などで対立する欧米など自由主義国家との軋轢は深刻であり、アジアでの地政学的リスクが益々高まっています。

米中間の覇権争いは既に一部でサプライチェーンの分断をもたらし、当社の事業にも影響なしとしません。巨大市場としての中国の重要性は変わらないものの、今後の予期せぬ状況変化に対応するため顧客の多様化、市場の分散も考えなければなりません。

(資源価格の高騰、インフレ)

原油、石炭、金属類などの資源価格は旺盛な需要にも関わらず供給力が伸びないことから急騰し、今後も高止まりする懸念があります。資源価格高騰などによるインフレはもはや懸念ではなく顕在化しており、今後の世界経済にネガティブな影響を及ぼしかねません。足元の円安は短期的には当社収益にはプラスですが、輸入物価の上昇により更なるインフレの亢進やスタグフレーションの惹起など中期的にはマイナス面の方が大きいと思います。

また、米国、中国など大国の経済動向には注視が必要です。これらの国々で景気の変調が見込まれば、中長期経営計画における需要見通しや設備投資計画についての慎重な見極めが必要になります。

(コロナ禍)

足元、我が国のコロナ感染状況は落ち着いていますが、ワクチン接種が進まない、あるいはその効果が薄れた地域では再び感染爆発が起きています。また南アフリカ発のオミクロン型の流行が懸念されます。感染防止のために世界が再び閉ざされない事を祈るばかりですが、原料生産、物流への影響も引き続き注視が必要です。調達ソースの多様化や在庫の持ち方にも工夫が要ります。

■中長期経営計画の着実な実行と高収益の維持

1) コールケミカル事業は鉄鋼生産構造の変化に伴うタール発生量減少への対応やコーカーを始めとする大型設備投資の実行を着実に進めています。一方、安定的な事業活動継続のためには足元の原燃料価格や輸送費高騰に伴うコストアップの転嫁に加え、中期的視点からの価格の底上げが急務です。

2) 化学品事業は、昨年の一過性の市況高騰の影響はなくなります。安定生産により中長期経営計画で掲げた収益レベルを堅持することが求められます。

3) 機能材料、複合材料事業は中長期経営計画では当社事業収益のもう一つの柱にすべく、5Gや熱マネジメントなど今後とも旺盛な需要が見込まれる分野で確実に業績を伸ばすことを目標にしました。言うまでもなく機能材料、複合材料事業の帰趨は研究開

発の推進と新技術、新商品開発に掛かっています。中期的観点から研究者の育成やマーケティングの育成に着手する必要があります。そのために必要なアセットは投入します。

以上の諸施策を着実に実行しつつ、中長期経営計画2年目にあたる本年度もしっかりと収益を上げたいと思います。

■安全、環境、防災、品質

「安全、環境、防災、品質は生産に優先する」は当社経営の根幹をなす重要な指針です。

社員の安全、健康は言うまでもなく社として最も大切なことです。

皆さんの安全意識の徹底により、昨年災害は再び減少に転じました。本年は更なる減少、願わくは災害0を目指し、安全活動の徹底をお願いします。

環境・防災も一旦事故を起こせば社会に対し、重大な影響を与えかねず、また社の名誉を著しく毀損します。化学産業に従事する者として本年は「環境・防災事故0」を目指し、いかなるトラブルも起こさないという強い決意で臨んでください。

品質管理、法令順守を含めたコンプライアンス強化は昨年初以来コンプライアンス改革委員会で取り組み中ですが、今年はこれらの対策を具体化し、結果を出す年にしたいと思います。言うまでもない事ですが、来年も再来年も地道な活動を継続し、会社の体質として定着させたいと思います。

■業務効率化、風通しの良い職場作り

昨年も申し上げましたが、快適な会社生活を送るためには一層の業務効率化が必要です。

IT投資などによる効率化を計画的に進めることは重要です。

一方で上司の仕事のさせ方一つで業務効率は大きく改善するものです。無理・無駄・ムラを無くせと言われますが、上司は組織の仕事の仕方、自分の仕事の与え方に無理・無駄・ムラがないか絶えず自問し、必要のない仕事は大胆に簡素化を考えてください。

コロナ禍により在宅勤務が定着しました。本年はコロナ禍終息後を睨んだ在宅勤務の在り方、オフィス・スペースの有効活用を検討します。在宅の利便性と面着による意思疎通の確かさ、上司部下、同僚同志の人間関係の豊かさのバランスを図ります。

ここでは、もう一点申し上げたいことがあります。それはマネジメント能力の強化ということです。

特に製造所や事業所においては上に立つものが現場に出て、現場の声を聞き、的確に指示することで職場の意思疎通を円滑にすることです。たとえ5分でも一日一回は現場に出る努力を続けてください。上司による率先垂範と風通しの良い職場作りが当社をより強い体質の会社にしてくれるはずです。私自身も製造所や生産現場に赴き、これを実践したいと考えています。

■最後に

最も大事なことは言うまでもなく働く仲間の心と体の健康です。

コロナ禍はまだ予断を許さない状況です。引き続き感染予防に万全を期して下さい。また心の健康にも目を向けてください。仕事の仕方、させ方に細心の注意をして職場全体で心の健康のケアに努めてください。テレワークで日頃のコミュニケーションが取りにくくなっている職場では一層きめ細かな配慮が必要です。

また、海外で業務に従事している皆さん、日本からの派遣者も現地の従業員の皆さんも昨年は大変な一年だったと思います。

相互の渡航制限が無くなるまで今しばらくかかるでしょう。テレビ会議などで絶えず連絡を取り合いながら、業務遂行に万全を期して下さい。また、日本のバックオフィスも万全の体制で支援してください。もう少しの辛抱です。

最後になりますが、本年が皆さんにとって素晴らしい年となることを祈念しております。

ご安全に。